



第27号発行
2025・1・26

発行責任者
間島 正明

「いい人生」を生きよう 自分のために 起った出来事も楽しみ笑って暮す (佐賀のガバいばあちゃんの言葉から)

新年を迎えて

理事長 間島 正明

明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。五年振りの「感謝の集い」が産文ステージにて出来、大変喜んでいきます。メンバーの変更もありながら、立派にできました。やはり保存会は「本番に強い」という如し、先輩の言葉通り頑張りました。特に新会員が、それぞれの持ち場で笛、尺八、三味線をやり、踊りをこなして色々勉強出来たと又、楽しく出演出来たとの声を聞かせていただきました。又、ぎおん柏崎まつりも時間の変更やバスの変更もありながら、雨にも負けず盛大に出来たと思います。問題もありますが、ぎおん柏崎まつりは継続していく必要があります。柏崎の夏の大事事で、その初日の音出しであります。益々盛り上げていく所存であります。



「感謝の集い」を終えて

会長 赤川イシ子

久し振りの「感謝の集い」開催。その時、連日の練習が終わりました。会員の皆さまの満足そうな笑顔が忘れられません。苦あれば楽あり、そのものでした。私事ですが術後、間もない状態で臨んだ司会の役。無事終わられますようにと祈る気持ちでした。あまり緊張することのない私も、さすがに不安だらけのステージでした。ブルブル震える姿を、お客さまに察しられることのないようにと。何とか終演を迎えた時、私は自分に言い残した。「頑張ったね」と。目標があれば頑張れる、その言葉そのものでした。結果はどうであれ、悔いはありません。もう少し、夢を見続けて生きてみようと思っております。

監査 大橋 義則

感謝の集いを終えて、大勢の皆様からご来場いただき、感謝いたす次第です。

懐かしい人にも出会えることができました。皆様方のご支援により、感謝の集いが出来ましたことに感謝いたします。

これからも民謡を通して、皆様と共に楽しめる事を楽しみに邁進したいと思えます。ありがとうございます。これからもよろしくお願ひ致します。

大橋 秀雄

歳のせいか体力気力が弱り、物事をするのに手間どってしまいます。民謡も同じでCDやテープを聞いて覚えようとするのですが、どうしても上手くいきません。

でも、民謡が好きだから少しでも上手く成るよう頑張りたいと思えますので皆さんよろしくお願ひします。

理事 飯塚 和代

大きなステージ、中ステージ、小ステージ（施設訪問）など保存会に入りいろいろな所に出演させてもらいました。

少しずつ舞台にもなれてきました。今回は中ステージになる。どのステージにおいてもお客様を楽しませる演出が必要となり、それに合わせた曲選びとなる。良い音で出演者全員が一つになり感動が伝わったのだろうか。産文でのステージが終わった後のやり切った感はあるが反省も

多々ある。練習はいっぱいしました。夜も昼間も完璧な音にはならずも、もう少し味のある音が出せたらと反省する。

楽しかった お楽しみコーナー

会計 霽 昌美

今回「お楽しみコーナー」に参加させていただきました。

「赤川会長の様に、ステージを縦横無尽に動きまわり楽しむ」と言う私の目標に、ほんの少し近づけた様な気がしました。



感謝の集いを終えて

柴野 孝子

秋晴れの佳き日でした。

地方笛のメンバーと春より取組んできた「貝殻節」の合奏とコラボの「上を向いて歩こう」が、無事終わり感無量でした。

笛の合奏を保存会のメンバーと出来て本当に楽しかったですし、達成感もありました。コラボレーションという事で、ゲストの新保さん、地方の他のメンバーと一緒に演奏も、新たな楽しさを体験しました。次は何をやるうかしら。

森山 文子

感謝の集いを終えて、まずお客様に感謝。そしてここまで導き、指導してくださった皆様にも感謝。また同僚の仲間や裏方・スタッフの方々にも感謝。そしてまた日頃から保存会の練習に快く送り出してくれる家族にも『ありがとう』と伝えました。

飯田 奏音

11月3日に行われた「感謝の集い」では、たくさん練習をし、出演させていただいた舞台でした。三味線でも全6曲を弾かせてもらい、本番はとも緊張しましたが、皆さんの支えもあり、全ての曲目で日頃の三味線

の練習の成果を発揮することができました。また、大きな舞台に立たせていただき、とても良い経験をすることもできました。三味線や民謡はとも面白く、これからも続けていきたいと感じています。今後もしっかりお願いいたします。

永井 寛生

今年の感謝の集いでは、自分なりに日々の練習の成果を披露できた良い公演会になったと思えました。演奏した三味線は小学五年生からやり取り、五年間、間島先生に教わり練習してきました。これからも色々な曲を出るようになり、三味線の腕を磨き、いろいろな公演会やステージなどで観客の方にとっても良かったと思ってもらえる様にしていきたいです。

倉田 祐輔

民謡を創り上げた祖先でさえ経験したことのない、縮小する社会を生きる私達。そのような時勢にあつて民謡を保存することを目的に集う私達。祖先から受け継いだ大切な価値を持続可能にしていくために、八〇代から一〇代まで、多様な人々が集い、感謝の名の元に悠久の響きを奏で、舞えたことに大きな感激と豊かな気分を分かち合うことが出来た。

藤井 洋平

今年の11月3日の感謝の集いに出席



演できたことは、大変光栄でした。多くの方々と交流し、温かい雰囲気の中で披露できたことが嬉しかったです。特に、相川音頭、米山甚句、柏崎松坂を尺八で演奏し、皆さんの笑顔と拍手が心に残っています。このような機会を頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。

田口 敏男

二〇二五年の干支は、乙巳（きのとみ）です。六〇年周期の干支の中で四二番目に位置し、「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持つ年とされています。

民謡保存会を切っ掛けに、三味線と出会ってまだ二年足らずですが、今年はまだに努力を積み重ね……自分だけでは無く、会全体が安定していくことを願いながら研鑽を積んで

参りたいと思います。
本年もよろしくお願いいたします。

令和七年へ向けて

高橋 克幸

民謡保存会に入会して二年目。ざ
おん柏崎まつりの民謡流しや、感謝
の集いなどで、本格的に公の場で太
鼓を叩かせていただく機会に恵まれ
ました。とは言え、曲の方を学び切
れておらず、先輩方に助けていただ
く事も多々あり、まだまだ学ぶべき
事は多く、目指すべき背中は大き
と感じた一年でもありました。これ
からも精進を重ねていきたいと思
います。

「感謝の集い」を終えて

坂井 文繪

DVDを見た。予想通り何の感慨
も沸かない。何故？ 新鮮味がなく
マンネリ感は否めない。毎年続ける
なら、多少の刷新と技術の向上が必
須と思われる。

牧野さんと海津さんには、私の道
具の運搬にお気遣い頂き、本当にあ
りがとう!!

尚、一月から本番までの踊りの練
習に、私が出席したのは102回でした。
皆さんお世話になりました。

理事 上村千代子

「終わった〜!!」何ヶ月も前から
練習、練習でしたが、本番が始まっ
たら、あつという間に終わりました
ね。5年ぶりの「感謝の集い」。そ
の間、会員メンバーの入れかわりも
あり、慣れない新人さん達もいて、
いろいろ不安もありましたが、会員
の頑張りとパワーで何とかうまく
いったのでは？ お客さん達の「良
かったよ」と言つて帰つてもらつた
事が何よりだと思ひます。
着付の方やスタッフの方々の協力
もあつて、無事に終了することがで
きました。良かったです。

副理事長 岸本なおみ

懐かしい曲「しげさ節」の皿踊り
に挑戦する事ができました。今から
二十五年前に隠岐島に行き習った曲
です。軽快な皿の音が館内いっぱい
に響き渡ります。

「隠岐しげさ節」を辿つていつた
ら三階節に結びついたという縁。曲
の由来を考えながら楽しく踊った曲
でした。



理事 牧野加代子

久しぶりの感謝の集い。緊張感の
中にも和みの輪が有り、踊り子13人、
円陣を組み気合を入れる。今までに
なかった雰囲気になった。心
配だった太鼓踊り。悪戦苦闘しなが
ら練習を重ねて来た。赤川会長の演
出によつて笑いが起こり気持ちが楽
になり、思いをぶつけられた。91才
の母が見に来てくれた!
「ステージで観るのは、やつぱり
良いね」「楽しかった」大変喜んで
くれた。なんだか頑張る力が湧いて
きた。これからも家族に感謝して、
元気に踊り続けたいと思ひます。

牧野 悦子

一言、ほつとしています。良くも
悪くも、終わつて良かったです。一
つのことを成し遂げる事は、全員の
気持ちの一致と、納得するまでの練
習だと思ひました。

七十周年を機に退会され、少なく
なった会員の中、新規入会して下さつ
た会員を含め、みんな、一つの目
標に向かい頑張つて良かったです。
これからもよろしくお願ひ致します。

海津 清子

立方のメンバーが大きく入れ替
わつて初めての発表会でした。
諸先輩方が退会されて戸惑うこと
もありましたが、新しいメンバーを

迎えて新たな気持ちで発表会に臨む
ことができました。
このような局面においてご指導下
さつた指導員の方に感謝し、これか
らも会の力になれるよう頑張つてい
きたいと思つています。

桑原まり子

感謝の集い、大変お疲れ様でした。
私個人としてはちよこつと間違つ
た所もありましたが満足できる公演
だったと思つています。新人さん達
の熱意に負けちゃならないと思いつ
つもアレコレで欠席してあせつた
り、フォーメーションを覚えられず
頭が真白になつたりで大変でした。
でも皆さんのフォローのおかげで
なんとか終わる事が出来ました。次
の公演へ向けて又よろしくお願ひし
ます。



感謝の集いを終えて

内山久美子

十一月三日に行われた「感謝の集い」は、私にとって何年かぶりの出演となりました。家庭の事情で二年間のお休みをいただき、四月から練習に復帰しました。

本番が近づくにつれ、練習も週三日に増え、家庭と仕事、踊りの練習、両立が難しく、時には逃げ出したくなることもありました。

今回の出演を通して、いろいろなことに気付き、多くのことを学ぶことができました。

「感謝」の気持ちを忘れずに、これからも頑張っていきたいと思えます。

棚橋 峰子

この日のために練習し、体調を整えおかげさまで終えることができました。ありがとうございます。人の動作は全身の筋肉を使っている。体に無理のない自然な動きがいちばん綺麗な姿になる。と考えると、今さらですが基本に忠実に踊ることを目標とします。心から楽しんで踊れば良いとして、練習します。



この日のために練習し、体調を整えおかげさまで終えることができました。ありがとうございます。人の動作は全身の筋肉を使っている。体に無理のない自然な動きがいちばん綺麗な姿になる。と考えると、今さらですが基本に忠実に踊ることを目標とします。心から楽しんで踊れば良いとして、練習します。

江口かつ子

二回目となる感謝の集いへの参加。今回はなぜかなんだかどうしてか、訳の分からないプレッシャーを感じ、もがきながら練習する日々が続いていました。見兼ねた先輩から、目からうろこの的なアドバイスを頂き、やつと初心に戻れ、当日は、その時の自分の精一杯の踊りをする事ができ、笑顔で幕が下りるのを見届けました。皆さんと一緒にあの舞台に立てて、本当に良かったです。ありがとうございます。

がっ……後日、出来上がったDVDを見て赤面。あつーめっちゃくちゃ下手くそやん……練習しよ！

絆

大瀧 裕美

入会一年で、この様な舞台に立てて頂いたことに感謝の気持ちでいっぱい。新人練習・例会のたびに御指導下さった皆様、本当にありがとうございます。

たくさんさんの練習で時間を共にしたことにより深まった絆!! 最高の雰囲気の中でスタートした公演は、笑いあり涙ありで感動のフィナーレを迎えました。保存会の結束の強さ最高です。最後に出演を楽しみに応援しに来

てくれた家族・友人「心からありがとう」

充実した二年間

吉田江里子

民謡保存会に入会して、一年が経ちました。あつという間と感じがすが、振り返ってみると色々なことがあり、とても充実していました。まだまだ未熟ですが、一年前までできなかったことができるようになりました。自分の成長を嬉しく思います。挫けそうになったことも何度もありましたが、一つずつ乗り越え、皆様のお陰でここまで来れました。これからも様々な壁が立ちました。これだと思いますが、一步一步前に進んでいきたいです。

きおん柏崎祭りの

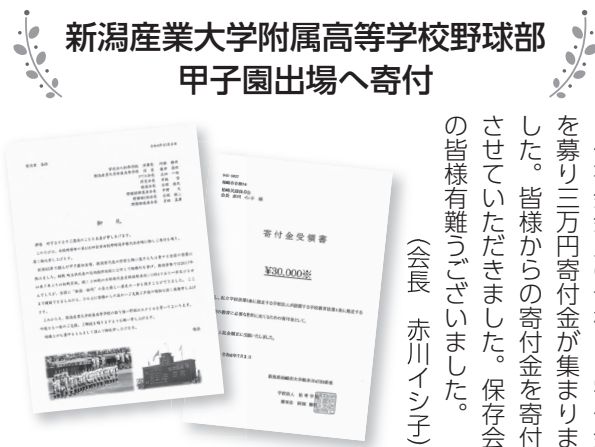
民謡流しに思う

副理事長 堀 憲一

柏崎は、きおん祭りの時、三つ民謡が踊られているが、年々見物客も少なくなってきた。市民のきおん祭りに対する考えも変化してきていると思う。最近「柏崎ふるさと音頭」を聴く機会が度々あり、この唄は「柏崎甚句」の振りでピッタリ

と合うようですので、この機会に唄と踊りを変えて観るのも一考かと思えます。市民が自分も踊ってみたいと思わせたら最高ですね。民謡踊り教室で浸透させることも必要かと思えます。時代添って変化させないと考えると考える近頃です。

新潟産業大学附属高等学校野球部 甲子園出場へ寄付



（会長 赤川イシ子）

編集後記

二七歳になった会報「和と輪」。年に一回の発行とは言え、二七号の発行となりました。原稿をお寄せ下さいました皆さま方に感謝申し上げます。本年も会員が「和と輪」でありたいと思います。

（広報担当 堀）